共生委員会ニュース

ともしび

2023年2月 第3号

共生探究学習委員会



宮古の「やぎプリン」

平和共生論文発表会



2月16日（木）、ＬＨＲの時間に2年生を対象とした平和共生論文発表会が行われました。71期クラス代表の生徒から3名の方が、後輩のために論文の概要と論文執筆に向けたアドバイスをして下さり、実りの多い会でした。

なお1年生を対象にした発表会は3月15日（水）に行われます。1年生の皆さんは楽しみにしていて下さい。

宮古と震災

2年　H.M.

皆さんは今年で東日本大震災から何年経つか知っていますか？一昨年震災から10年という節目を超え、今年の3月11日で震災から12年が経ちます。今回は私が実際に岩手県宮古市を訪問して得た経験をもとに、宮古について関心を持ち、東日本大震災についてより深い知識を持ってくれたらと思います。

まずは、宮古市の魅力を少しご紹介したいと思います！宮古市は、たくさんの海の幸と絶景に恵まれた街です。ここで私がおすすめするのが「田老かりんとう」と「やぎプリン」です！うず巻の「田老かりんとう」は、三陸みやこの塩を練り込んで1枚1枚切って揚げた生地に黒糖蜜が練りこまれている、甘じょっぱくてやみつきになる一品です。1923年（大正12年）の創業から、1933年（昭和8年）、2011年（平成23年）と2度の津波で壊滅的被害を受けましたが、その度に復活し今に至っています。

また、ヒトの母乳に近いといわれるヤギミルクは、栄養価が高い上にお腹に優しく、吸収の良いミルクです。この「やぎプリン」は「マツコ&有吉　かりそめ天国」でも紹介された一品です！どちらも私が実際に宮古で　食べて感動したもので、宮古の自然から生まれた唯一無二のものです。是非チェックしてみてくださいね！

つづいて、私が宮古訪問プログラムで訪れた田老地区についてご紹介したいと思います。
岩手県の太平洋側に位置する宮古市田老地区は人口300人（2023年現在）ほどの町です。ですが震災前は人口4400人ほどの自然豊かで賑やかな町でした。



みなさんもこの写真を見たことがあるのではないでしょうか？
これは田老地区の港近くにある「たろう観光ホテル」です。宮古訪問では、実際にこのホテルの中にも入らせていただきました。東日本大震災により６階建ての建物の４階まで浸水し、１・２階は完全に破壊されてしまった「たろう観光ホテル」。その姿から大津波の破壊力を感じることが　できます。このたろう観光ホテルは津波遺構として保存され、防災意識の向上に活かされています。

田老地区は第一、第二防潮堤に囲まれる港町でその高さは10mにも及びました。まさかこの町の「守護神」とも思えるこの防潮堤が震災による被害拡大の一つになるとは誰も考えていなかったでしょう。高さ10m、ビル3,4階建て相当のこの防潮堤は港の近くに住む町民にとってとても心強く安心できるものでした。ですがこの防潮堤に人々は安心感をいだきすぎてしまったのです。

2011年3月11日、地震速報が鳴り避難を促され皆が慌てている時、防潮堤付近のある家庭では友人が揃ってお茶会が行われていたそうです。なぜ彼女らは逃げることができなかったのか。防潮堤の付近では防潮堤の向こう側の景色は全く見えず、実際行ってみると地上で吹いていた強く冷たい風も10mの壁で遮られ、こころなしか暖かさも感じるくらいでした。この壁によって町民はことの重大さに気づくことができなかったのです。この津波によって防潮堤は崩され、田老地区のほぼ全面が被害を受けました。





皆さんはあの日、何をして、何を考えていましたか？あの日、二万人ほどの被害を出す大地震が起きると予測できた人はいたでしょうか？宮古の方々は皆さん口をそろえて、「伝えるという事を大事にしたい」とおっしゃっています。自然災害というものは誰も予測することができない不可抗力です。だからといって、起きてしまったね、残念だったね、で終わっていいのでしょうか。

私達には知らないことが多すぎます。「知る」という事に興味がないからです。だから私はこうして、みなさんの「知る」事のお手伝いが出来たらなと思い、この記事を書いています。これを読んだから、震災について調べろ、とか興味を持て、と言うつもりはありません。震災教育は本来主体的にやるものですから。ですが、この機会に少しでも震災によって被害を受けた方々からの思いを心において、自分に出来ることはないかと考えてくれる人が増えてくれたら本当に嬉しいです。

今年から復活した宮古訪問プログラムでは、実際に宮古市を訪ね、宮古市のおいしい産物を頂き、実際に現地の方々と交流をしながら震災について考えています。定期的に沢山のイベントを実施しているので、少しでも興味を持っていただけたら幸いです！

【図書館の共生論文コーナー】

現在、図書館内文庫本書架の向かいに、平和共生論文執筆のための特設コーナーが設置されています。
貧困、差別、生命倫理など代表的なテーマの関連書籍が展示されていますので、ぜひ参考にして下さい。

